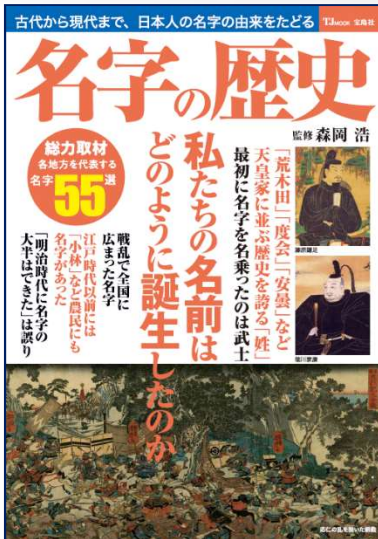


2021年9月吉日

室町時代から名字はあった!?

姓氏研究家・森岡 浩が“名字”の歴史を読み解く！ 『名字の歴史』 9/27(月)発売



『名字の歴史』
定価：1100円(税込)
発売日：2021年9月27日

もともとは“名前”しかなかった日本人
“名字”を全国に浸透させるキッカケは武士の存在!?

近年、日本では夫婦別姓に関する議論がされるなど、日常生活の中で“名字”に関わる話題が出てくるようになり、名字に対する注目が高まってきています。

私たちが当たり前のように名乗っている「名字」は、明治維新後、適当につけられたものではなく、室町時代から使われていたことがわかってきました。

本誌では、古代から現代まで、名字の歴史と由来を、時の権力者の思惑や事件を交えながら解説します。日本人の名字のルーツをたどることによって、日本の歴史の新たな側面を垣間見ることができる一冊です。

<p><目次> 第1章：名字誕生前に主流だった「姓」とは？ 第2章：「名字」の変遷は日本の歴史の写し鏡 (平安時代、鎌倉時代、南北朝時代、室町時代、戦国時代、江戸時代、明治時代、昭和時代)</p>	<p>巻末特集：各地方を代表する名字55選</p>
--	---------------------------

“名字”のトリビアが満載！

➤ 「おかゆ」さん!? 徳川家康が次々と与えた名字

家康は戦などで活躍した武士達への褒美として、土地やお金の代わりに名字という名誉を与えていました。お粥をごちそうになった家には「おかゆ」さん、明るく照らしてくれた人たちを「昼間」さんと名付けるなど、様々な名字を与えていました。

➤ 能力重視の三井家

豪商「三井」は、元は武士の家柄。戦国武将から商人に転じた三井家では、たとえ長男でも見込みがないと判断された場合は家を継ぐことができず、「三井」の名前を名乗ることも固く禁じられていました。

➤ 名字で「右」「左」が使われない理由

「右」と「左」が名字として使われる頻度が少ない理由は、どちらに向かって右側、左側なのかが分かりにくく名字本来の機能である家を特定することができないため、あまり使われなかった。

➤ 変わった由来をもつ名字たち

- 「風呂家」=源義経にお風呂を提供したのが由来
- 「玉虫家」=戦で敗れた先祖が自害しようとしたとき、玉虫の霊に命を助けられたことから命名

誰かに話したくなる名字のトリビアが満載！

- ★ 氏姓制度から名字へとシフトした理由は藤原氏が繁栄しすぎたから!?
- ★ 藤原派生の名字が増えたのは出世が見込めなかった分家の人々が地方官僚となったから!?
- ★ 特定の名字が増える理由は、支配地域のトップに立たなかったから!?
- ★ 家康が名字を与えたのは、褒美の土地がなくなってしまったから!?
- ★ 英語の表記は名前→名字ではない？
- ★ 夏目漱石や森鷗外など文豪のペンネームの名字の由来は？

取材可能です！



監修：森岡 浩（もりおか ひろし）プロフィール

1961年高知県生まれ。姓氏研究家。早稲田大学政治経済学部卒業。学生時代から独学で姓氏研究を行い、文献だけにとられない実証的な研究を続ける。特に現在の名字分布をルーツ解明の一手がかりとする。著書に『全国名字大辞典』（東京堂出版）、『なんでもわかる日本人の名字』（朝日新聞出版）、『名字でわかる日本人の履歴書』（講談社）など。

本誌を読んだ方が、日本人の名字のルーツをたどることによって、日本の歴史の新たな側面を垣間見ることができれば幸いです。

関西地方で多い名字
大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・三重県・滋賀県・和歌山県

松平（まつだいら）
三河の藩族から。徳川幕府の松平家へ。新田氏の子孫が三河岡田藩に封じられ、松平氏と改称。徳川幕府の松平家へ。新田氏の子孫が三河岡田藩に封じられ、松平氏と改称。徳川幕府の松平家へ。新田氏の子孫が三河岡田藩に封じられ、松平氏と改称。

斎藤（さいとう）
近江の藩族から。伊勢守の斎藤氏の子孫が近江守に任じられ、斎藤氏と改称。近江の藩族から。伊勢守の斎藤氏の子孫が近江守に任じられ、斎藤氏と改称。

伊藤（いとう）
東海道の藩族から。伊藤氏の子孫が東海守に任じられ、伊藤氏と改称。東海道の藩族から。伊藤氏の子孫が東海守に任じられ、伊藤氏と改称。

九州地方で多い名字
福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・鹿児島県・沖縄県

鍋島（なべしま）
本藩の藩族から。鍋島氏の子孫が本藩守に任じられ、鍋島氏と改称。本藩の藩族から。鍋島氏の子孫が本藩守に任じられ、鍋島氏と改称。

松浦（まつら）
九州の藩族から。松浦氏の子孫が九州守に任じられ、松浦氏と改称。九州の藩族から。松浦氏の子孫が九州守に任じられ、松浦氏と改称。

菊池（きくち）
九州の藩族から。菊池氏の子孫が九州守に任じられ、菊池氏と改称。九州の藩族から。菊池氏の子孫が九州守に任じられ、菊池氏と改称。

東北地方で多い名字
青森県・秋田県・岩手県・山形県・福島県・宮城県

工藤（くどう）
「木」の音から。工藤氏の子孫が工藤守に任じられ、工藤氏と改称。木」の音から。工藤氏の子孫が工藤守に任じられ、工藤氏と改称。

葛西（かさい）
関東の藩族から。葛西氏の子孫が関東守に任じられ、葛西氏と改称。関東の藩族から。葛西氏の子孫が関東守に任じられ、葛西氏と改称。

南部（なんぶ）
東北の藩族から。南部氏の子孫が東北守に任じられ、南部氏と改称。東北の藩族から。南部氏の子孫が東北守に任じられ、南部氏と改称。

中国地方で多い名字
鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

長谷川（はせがわ）
長谷川氏の子孫が長谷川守に任じられ、長谷川氏と改称。長谷川氏の子孫が長谷川守に任じられ、長谷川氏と改称。

三宅（みやけ）
岡山の藩族から。三宅氏の子孫が岡山守に任じられ、三宅氏と改称。岡山の藩族から。三宅氏の子孫が岡山守に任じられ、三宅氏と改称。

妹尾（せお）
岡山の藩族から。妹尾氏の子孫が岡山守に任じられ、妹尾氏と改称。岡山の藩族から。妹尾氏の子孫が岡山守に任じられ、妹尾氏と改称。

巻末特集は各地方を代表する名字55選！

四国地方で多い名字
高知県・徳島県・愛媛県・香川県

山名（やまな）
讃岐の藩族から。山名氏の子孫が讃岐守に任じられ、山名氏と改称。讃岐の藩族から。山名氏の子孫が讃岐守に任じられ、山名氏と改称。

三好（みよし）
讃岐の藩族から。三好氏の子孫が讃岐守に任じられ、三好氏と改称。讃岐の藩族から。三好氏の子孫が讃岐守に任じられ、三好氏と改称。

大西（おおにし）
四国の藩族から。大西氏の子孫が四国守に任じられ、大西氏と改称。四国の藩族から。大西氏の子孫が四国守に任じられ、大西氏と改称。